

# 大学院特別講義のご案内

日時: 2015年 5月25日(月)午後5時～7時(質疑応答時間あり)

場所: 記念会館2F多目的ホール

講師: 新谷 歩 先生

大阪大学臨床統計疫学寄附講座教授

医学部付属病院未来医療開発部データセンター長

演題: (第1部) 今日から使える医療統計学

医学論文を紐解くための統計コンセプト

(第2部) 電子データ集積システムREDCap紹介

## 要旨:

**第1部:** 臨床研究を行う際、あるいは論文等を読む際、統計学の知識を持つことは必須です。本講演では、記述統計量、仮説検定とP値、無料ソフトを用いた症例数計算、リスク比、オッズ比、感度・特異度、無作為割り付け比較試験と観察研究における統計解析、交絡と回帰分析など、統計学が敬遠される一因となっている数式をなるべく使わない形で、論文などに多用される統計、医歯学研究者が陥りがちなポイントとそれに対する考え方について紹介します。

**第2部:** 2015年4月に施行された「人を対象とする医学系研究統合指針」では、質の高い臨床研究の推進、それにともない各研究施設でのインフラ整備が義務付けられることになりました。国際的な競争力を高めるためにも安価で質の高いデータ集積システムの導入が必要不可欠となりつつあります。阪大医学部では、統合指針への対応策の一つとして、世界アカデミア標準となったデータ集積管理システム、REDCap (Research Electric Data Capture) を導入しその運用をデータセンターでサポートしています。REDCapはIT専門家でなくとも簡単にWeb上でデータベースの構築と管理ができ、多施設のデータを簡単安全に集積できる画期的なシステムとして、世界88か国20万人のアカデミックユーザーに活用されています。REDCapシステムについて、簡単な概要と実際の画面構築データ入力などその使い方、統合指針への対応のための運用方法などを紹介します。



## 略歴

新谷 歩(しんたに あゆみ)

現職:

大阪大学 大学院医学系研究科

臨床統計疫学寄附講座教授

医学部附属病院未来医療開発部

データセンター長

東海大学客員教授

福島県立医大客員教授

京都大学非常勤講師、

2007年－2013年

Vanderbilt大学医療統計学部准教授

2001年－2007年

Vanderbilt大学医療統計学部助教授

2000年 米国Yale大学博士課程修了

1996年 米国Yale大学修士課程修了

1991年 奈良女子大数学科卒

※「口の難病」セミナーも兼ねます

(問い合わせ先: 歯科補綴学第一教室・石垣・内線2946)